

## なんだ・かんだ

### ◆ 貧困 ◆

ちょっと後ろ向きの表題ですが、先月の日経ビジネスで気になった記事だったので取り上げさせていただきます。

厚生労働省の2014年にまとめた国民生活基礎調査によると、日本の「相対的貧困率」は2012年時点で16.1パーセントでした。(相対的貧困率とは、所得を世帯人数に振り分けて、中央の値の所得を基準に、その半分に満たない人の数の比率で、その国で一般的とされる水準の生活が送れない層を測る指標の一つです。調査時点の日本の場合、税金や社会保険料などを除いた可処分所得が122万円(約10万円/月)に満たない世帯の割合を示しています。)言い換えると、日本の人口が約1億2,700万人ですから、月に約10万円で暮らす人が、日本には約2,000万人、およそ6人に1人もいるということになります。この相対的貧困率は、1985年の12.0パーセントからほぼ一貫して増加していて、日本は経済協力開発機構(OECD)加盟国の中でも高水準にあるということです。

そして、生活困窮者に支給される生活保護の費用は膨張する一方で、2009年度に3兆円を突破した生活保護費の総額は、2014年度の予算案で3兆8000億円に達しています。生活保護については、「生活保護以下の所得しか得られない労働者の労働意欲をそぐ」「働かない方が、収入が多い」「金持ちの親が受給して良いのか」などと、モラルの問題を指摘する批判も多くありますが、保護費支給の賛否は別として、財政を圧迫しつつあることは事実です。

こういった状況の中、今年は大企業を中心にベア大幅アップのニュースが流れましたが、この様な状況が長くつづいてくれればと思います。

私が社会に出た1980年代初めは、大企業も中小企業も定昇ベア込みで4%・5%アップで昇給していました。それが、バブルがはじけるとベアという言葉さえ聞かれなくなり、利益が多く出ても、ボーナスのような一時金を増やして利益の還元をしてきました。

当社でもバブル以前は、4月の昇給時には、定期昇給とベースアップを毎年のように実施していましたが、バブルの崩壊後は、ベースアップを行う年は希で、定期昇給や各種手当の増額だけしか実施できない年が多くなりました。

少しでも多く給与を上げたいとは思いますが、市場が収縮し売上がなかなか増えず、更に過当競争が激化して、毎年利益率が下がっていくという負のスパイラルにはまり込んでいるという現状。そして、人件費アップは、給与だけでなく、賞与・退職金そして社会保険料などその他の経費にも波及します、何よりも上げたその年だけではなく、上げた分はその後も継続して企業の実負担となるので、なかなか大きく改善することが出来ないのが現実です。

しかし、かっこをつけるわけではありませんが、6人に一人が貧困者であるという現実を知ると、日本の国力のためにも、財政のためにも、我々企業は利益を上げ、人を雇い、適切な税金を納めていくことが、大きな責務であると改めて考えさせられました。



### ■ 断熱塗料 HIP エアロ ■

熱の伝導には、熱伝導・対流・放射の3つがありますが、HIP エアロはおおよそ95%の空気と、5%の熱伝導率の低いシリカでできた超多孔質な微細構造を持ち、その内、熱伝導と対流を大きく抑制し高い断熱性を発揮します。

耐熱は200℃ 1mm厚でグラスウール(16K)相当の断熱性を有します。

100℃の熱源上での表面温度を測定すると、中塗膜厚 1mmで 80℃(-20℃)、中塗膜厚 2mmで 66℃(-34℃)

200℃の熱源上での表面温度は、中塗膜厚 1mmで 160℃(-40℃)

中塗膜厚 2mmで 120℃(-80℃)と言う試験結果が出ています。

用途開発的な製品ですが、ご興味があれば当社の営業マンにお尋ね下さい。

### 補助金終了

4月は雪・ひょう 大雨と天候不順で、日照時間も平均の60%程度と言ふ事で、野菜が値上がりしています。また、気温が上がらない日が続いたからでしょうか、私の回りでも何人かの方が体調を崩されて会社を休まれた方もいらっしゃいます。何でもインフルエンザも再流行しているようです。皆様、お体には十分お気を付けください。

さて、先月「なんだかんだ」でご案内しました、省工不補助金 ですが、なんと先週4月22日で800億の予算に到達してしまい、申請受付は終了してしまいました。受付期間が12月までということでしたが、1ヶ月余りで予算終了。当社のお客様でも対象商品の性能証明書が間に合わずに申請できなかった会社さんが何社かいらっしゃいます。かく言う当社も同様で、申請出来ずに終わってしまいました。

比較的大きな会社が大きな予算を申請したこと。性能証明書の発行が当初3週間程度という話でしたが、製品によって何週間もかかり間に合わなかった。と言つのが早期予算終了の理由のようです。この補助金は人気があり、早期に終了することが予想されていましたが、「ここまで早いとは思いませんでした。やはりスピードは大切です。反省致しました。」

代表取締役 服部 敬一郎

### 社員ブログ

● 来期に向けて ● 営業部 河口 祐一郎

私ごとですが、子供が産まれて1ヶ月半経ちました。子供が出来てから、歩道を歩く赤ちゃん連れの親子を良く目にするようになりました。

今までもその光景は何度も見ていたのではないかと思います。そこに関心を向けていなかった為、目に止まらなかったのかもしれない。

これは仕事にもあることで、お客様のところや展示会で見たり聞いたりしたことに関心を持っていないと頭に残らずに、忘れたりしてしまいます。

実際に、お客様のところで話しているときに、どこかで、同じようなものを見たような気がしても、どこで見聞きしたものであったか、思い出せないということがたびたびあります。

しかし、それでは商機を逃し、他社に遅れを取るようになってしまうので、そうならないように、そして、お客様に何か良いものが提案出来るように、普段からアンテナを広げて、意識、関心を高く持ち来期に向けて活動していきたいと思えます。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方につきましては、その旨ご一報頂きたいと思えます。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社チキリ  
静岡県駿東郡清水町卸団地 73  
Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534  
E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/